■吉村甚兵衛 運輸通信業者。三都定飛脚問屋の当主だったが、官営郵便の創業で打撃を受け、陸運会社に転換して成功。
よしむらじんべえ
・・・・・・1836= 江戸で、三都定飛脚問屋和泉屋当主の子に生まれる。
大塩平八郎乱1837= 1歳：

阿部正弘首座1845= 9歳：

ペリー来航・1853=17歳：
開国開港・・・・1854=18歳：

桜田門外変・1860=24歳：

8月18日政変 1863=27歳：

幕末に三都定飛脚問屋和泉屋の当主として家業の発展に努め、

明治維新・・・・1868=32歳：_<明治維新>後、
戊辰戦争終・・・・1869=33歳：*東京為替会社の設立の際に、身元金を差し出して頭取並に選任され、
初の日刊新聞1870=34歳：_廻漕会社設立の際にも、14人の同業者とともに頭取に選任されるなどするもの、
廃藩置県・・・・1871=35歳：_官営郵便の創業によって深刻な打撃を受けたため、旧定飛脚仲間と提携して、官営郵便とはげしい競争
をくりひろげたが、結局、駅通頭前島密の勧告や手代佐々木荘助らの助言に従って、
学問のすすめ1872=36歳：*陸運元会社を日本橋佐内町和泉屋邸内に設立し、その頭取となった。
明治6年政変 1873=37歳：
初の民間工場1875=39歳：*陸運元会社を内国通運会社と改称した後も頭取の地位にとどまったが、

明治14年政変1881=45歳：*辞任し、

帝国大学始・1886=50歳：_病没した。